

令和五年度阿蘇小学校学校だより三号

阿蘇の風

文責…後藤 昭

運動会ありがとうございました。

去る五月二七日土曜日、令和五年度阿蘇小学校大運動会が開催されました。

当日は、雨の心配もなく、午前六時に体育主任の春木先生が爆竹を上げました。すがすがしい空に爆竹の音と煙が広がり、職員も「さあやるぞ」と意気込みました。

八時の開会式までには、ご来賓の皆様もお越しいただきました。練習でも引き締まっていた児童ですが、大会当日はさらに、凛々しい顔での入場でした。

各学年の徒競走を皮切りに、団体競技では、低学年のダンスを交えた玉入れ。子どもたちも曲に合わせたダンスと玉入れ、ルールを守って懸命に参加していました。

中学年の団体競技、大玉転がし。三人組で力を合わせてスピードをあげて競技を行いました。カラーコーンを回るのが一苦労したグループもありまし

たが、無事にみんなゴールしました。高学年は、表現活動「虎舞」です。



代々引き継がれている虎舞。六年生が五年生に教えるところから運動会に向けての取り組みが始まりました。その後、全員が揃うことを目的に練習を積み重ねました。暑い中、身体全体を使って踊るのはかなりきついようでしたが、休憩と水分補給を行いながら練習を続けました。そして、いよいよ本番、各地区の応援場所の前で懸命に踊る子どもたち。終わった後の大きな拍手を忘れてないでいてほしいですね。

運動会と言えば、「応援合戦」と「リレー」と考える人も多いのではないのでしょうか。

各低中高学年のリレーでは、確実に次の走者に渡そうとする低学年。少しだけ走りながらバトンを受けて次の人に渡そうとする中学年。できるだけバトンパスのスピードを落とさずにつなごうとする高学年。それぞれの学年に合わせた指導が行われ、全員見事にバトンを渡すことが出来ました。

応援合戦では、練習の時から「力を合わせる」「声をそろえる」「大きな声を出す」など応援団長の岩下大晟さ

ん、佐藤星央さんを中心に取り組んでいました。運動会当日までには、声が潤れるのではないかと思うほどでした。当日も見事な演技で会場から大きな拍手が送られました。



阿蘇小のリレーと言えば「地区対抗リレー」と言われるくらい、会場全体が盛り上がる競技です。本年度も児童のみのリレーでしたが、各地区の応援団旗とTシャツを着た各地区の保護者の皆さんの盛り上がりにつくりしました。これぞ「チーム阿蘇小」と感じる一場面でした。

風が強くなり、少しだけ心配しましたが事前準備で保護者の皆さんに土嚢を作つてすべのテントに装着して



いただく、スムーズに片付けることが出来ました。ありがとうございます。今後、運動会での学びを活かして、あらゆる面で成長していけるように「チーム阿蘇小」として取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願いたします。